

2024.03.24-  
ベトナム訪問記

新千歳10時発の飛行機でしたが、荷物にリチウムバッテリーがあるとのことで、その取り出しで30分以上遅れて出発。

羽田から成田はバスでの移動。

成田で2万円をUSD、3万円をベトナムドンに両替。ちょっと多めにドンに替えたのは今年はまだ来ることになりそうだから。

さっさと入国審査まで終わらせてラウンジでシャワーを浴びたりしてくつろぎました。

搭乗口に行くと西田さん、高階さんもいて、西田さんは自分の後ろの席。飛行機は意外と空いていました。出発ギリギリで滑走路で30分くらい足止めになりました。なんでも急病人が発生した航空機を先に着陸させるためだということをやむなし。

隣の席も使えたのでかなり楽でしたが、それでも足が疲れました。

SIMはeSIMを用意。着陸してすぐにアクティベートしたら数分で使えるようになりました。助かります。NOMADという東南アジアを中心に展開している会社でした。30日間10GB16ドルでした。

それでもハノイ ノイバイ空港には予定より15分ほど早く到着。荷物を待っていると塚田先生にもお会いできました。塚田先生は空港近くで一泊してから大会のあるThai Nguyen市に向かうとのことでしたが、西田先生がタクシーを予約しているとのことでは便乗させてもらいました。

Airbnbで予約した宿で、住所を頼りにGoogle mapを見ているとちょうどすぐそばをタクシーが通るのでそこで降ろしてもらいました。で、歩いて宿泊の場所の近くに行ったのですがよくわかりません。宿の人にAirbnb経由で確認をしたら違う場所とのこと???そばの飲食店の人に聞いてもよくわからないので、Whatsupで宿の人と話をしてもらいました。

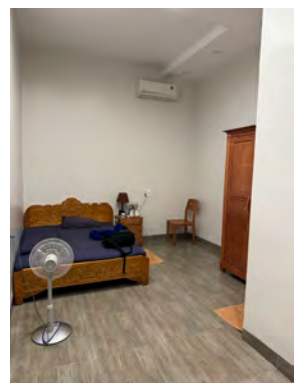
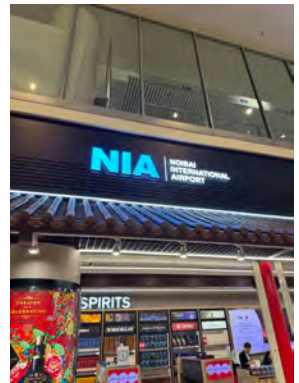
どうもだいぶ遠いようです。タクシーが必要とのこと、運転手を呼んでくれました(車はお店の前にあった)。運転手と宿の人と直接電話でやり取りをしてもらい、なんとか辿り着きました。結構奥まったところにあるようで、わかりにくい。みなさん、ありがとうございました。75000ドン

機会があれば食べに行きます。

宿にはちょうど0時頃に到着。英語ができないご主人(それまで話をしていた宿の人はホーチミンに住んでいる娘さん)が受け付けてくれました。部屋は玄関が別の一階の部屋と玄関が一緒の二階の部屋のどちらかを選べたのですが、一回の部屋がより気楽そうなのでそちらにしました。

部屋は綺麗(内装を綺麗にしたばかり)で、トイレ、シャワーも綺麗でした。テレビ、冷蔵庫はありませんが、つくばの研修施設よりずっと快適な感じでした。

すぐに就寝。



03.25

こちらの430まで熟睡しました。

買い物に行ってみることにして、Googleマップを調べたのですが、近くにはお店があまり無いようです。歩いて30分ほどのところにありそうでした。午前は時間がありますので、朝食を食べに

行きがてら出かけます。しばらく歩くと湖がありました。Quảng Trường Hồ Xương Rồngという公演だそうで、その辺りにカフェがあり (Amor cafe and tea)、中を覗くとフォーを食べているお客さんもおられました。そこで中でコーヒーとフォー。フォーはメニューを翻訳するのが手間だったので、メニューの一番上のフォーにしました。

牛肉のフォーでした。

のんびりしてからお店を探しましたが、どこにも大きめのお店は見当たらず、小さなショップばかりでした。それでも少し大きめのお店に入り、水、コーヒー、お土産になりそうなお菓子類 (これが学生には評判が悪い) を購入しました。

宿に戻る途中に、花などの苗を販売しているお店があったので、覗かせてもらいました。なかなか面白いのですが、日本に持ち帰るわけにもいかず、目の保養に止めました。

道端では野菜や芋などを売っています。肉も切り売りしています。東南アジアのよくある風景に和みます。

野菜うりのおばさんに (お姉さん) に声をかけて、野菜の写真を撮らせてもらいま

す。白ナス、コールラビなど、葉物はわかりません。芋類も色々あって並べて全部味見してみたいところです。

一度宿に戻り、荷物を片付けてから今日の受付が行われる街中の会場まで行ってみることにしました。歩いて15-20分ほどの場所のようです。狭い路地をしばらく歩いていくと大通りに出て、そこからさらに少し歩くとありました。May Plaza Hotelで、大会参加者の多くはこのホテルを利用しているようです。気温はぐんぐん上がって30度。ちょっと辛いです。ホテルのロビーで冷たいコーヒーを飲んでいたら知り合いの先生が降りてこられました。一緒に昼ごはんでもということで、ホテルの食堂に行ったら

やっていません。ホテルのそばのお店を適当に探して入りました。席に座ってもお店の人が来るわけでもなく、メニューがあるわけでもなく、入り口で料理をしているお店の人のところで注文をするのかなと行きました。キョトンとしています。どうも、メニューなどはなく、単品のみ。





魚のフォーでした。なかなかこれも美味しい。一人5000ドン（二百円くらい）。奢っていただきました。しばらく情報交換をしてからホテルに戻り、まだ受付に時間があるようなので自分は一度宿に戻りました。宿で少し休んでから再びホテルに。受付が始まっていました。実はこの大会ではクレジットでの支払いができず、海外送金だけの受付でした。でも海外送金は手間もお金もかかるので面倒です。大会運営者にメールで連絡をとり、現地で支払うから予約を入れておいてねとお願いして了解をいただいております。さて、オンサイトでの登録料になるのか、それとも事前登録の登録料になるのか。200ドル以上違うので、かなり大きいです。優しいことに事前登録の扱いにしてくれました。これは助かりました。実



際の大会はさらに3kmほど

離れた大学構内で行うとのことで、遠いからスタッフのマイクロバスに同乗して良いとのことで明日からの足も確保できました。ホスピタリティに感謝です。

そのまま会場でレセプションパーティが開催されるのですが、時間があります。知り合いの先生たちも集まってきましたので、まずはビール。

Tiger beerとHanoi beer。前者の方が美味しい（25000と15000）。



各国の代表やESAFSの幹部の皆さん。食事も美味しかったです。特にサーモンのパッションフルーツソースかけ。これはとても美味でした。家でもパッションフルーツが手に入ったら試したい料理ですね。

### 03.26

まず朝からオンライン会議x2。と身構えていたのですが、一つは会議の主催者の先生が発熱をされてしまい、急遽取りやめに。こちらの6時（日本の8時）からの会議は日本、ブラジルとベトナムを繋いでの打ち合わせでした。7時のバスに間に合うためには630には宿を出たかったので、会議は途中で退席してもらいました。バスの出発するホテルまで移動をしたのですが、途中で朝食にありつけず、結局朝は抜きになってしまいました。昨晚、結構食べたので少しは節制をしないとです。

昨日のレジストレーションの際の話とは変わって、バスは他のみんなも移動するのと一緒に移動することになりました。7時にはバスが出るということだったのですが、実際にバスが出たのは710頃。会場までは約20分かかりました。それなりに遠いので歩いてくるのはちょっと辛

かったと思います。昨日のレジストレーションをしていなかった参加者の登録作業が行われていて、実際の開始まではまだ時間がかかりそうです。

プログラムが変更されていて、今日の午後は近くのお茶栽培地域へのエクスカージョンが予定されました。それはそれで嬉しいです。お茶の栽培地というのは多くの国内地域では肥料過剰が問題ですが、ここではどうなのでしょう。

二年前から交流を続けているベトナム土壌肥料研究所の面々がこられていました。早速挨拶を交わし、今後の研究についての打ち合わせを行うことに。今回の主目的です。

ESAFS第16回大会のメインテーマは

Healthy soils for sustainable development

流行りのSoil healthです。

午前中はキーノートスピーカによる発表。米国、カナダ、中国、ベトナムからの紹介が行われた。炭素の蓄積と温暖化ガスの発生を勘案すると有機物をそのまま入れることはあまり好ましくなく、バイオチャーにして不活性化することが重要と判断されている。

ランチは会場に隣接する小さなホールで。

午後は近くのお茶畑の視察。土壌断面も用意されていて、鉄の下層への移行が観察された。pHが低い、arubisol??? (pHが高いとLuvisol???)。水位の変化で酸化還元が繰り返され、その結果生じた鉄とマンガンが集積した塊（フェリシと??）が形成していた。

お茶はちょっと苦い。乾燥は加熱して行う方式。手もみも機械で行っていた。

お茶は2mx1mで植えていて、全ててづみ。樹齢は十五年で更新するというのであった。

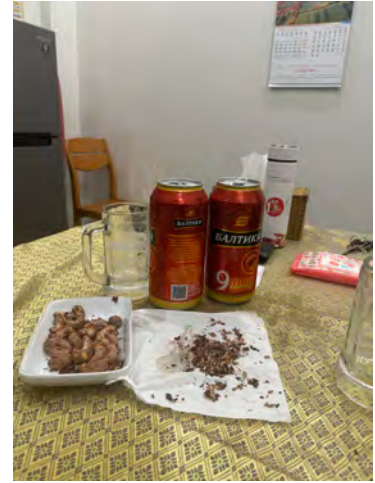


田舎に行くともっと古い樹木もあるということであった。

夕飯はお茶園の近くのBotanical gardenにおいて。ちょっと勉強していたベトナム語をベトナム人の方に聞いてもらったら、発音が悪くてわからないと笑われてしまった。ショック。。

ビールと白酒をしこたま飲んで宿に戻ったら、ご主人が待ちかめていて、喉が渇いただと誘ってくれました。水を出してくれると思ったら、ビールでした。冷たいビールが机の上に置かれていて、おつまみにはカシューナッツも。英語は全く通じないですし、こちらのベトナム語も全くで





す。

でも私たちにはスマホがあります。翻訳機能で1時間以上も仲良く過ごせました。大きなビールの缶（多分ロシアのバルティカ、8%の大缶を2本開けてすっかり酔っ払ってしまいました。

03.27

今日はバスが730出発だとのことで、6時に開店と書いてあった初日に行ったお店にPhoとコーヒーを飲みに行きました。が、6時5分くらいに着いたら、まだ開けているところでした。中に入り、確認したらフォーはまだできない。コーヒーもしばらく待ってということで、それなら良いとお断りました。

バスの待ち合わせ場所 (May Plaza Hotel)に行く途中で見かけ



ていたバンミーを売っているお偽りがあったので、そこに寄ることにしました。中学生くらいの学生がお母さんと思われる人と一緒に2組。そのほかにも車で買いに来たり、バイクで買いに来たいと人気があるようです。他にも肉まん？か何かも売っていたので両方購入しました。合わせて20000ドン。100円くらい。かなり安い。待ち合わせのホテルで食べることにしましたが、アイスコーヒーを頼んだのですが、出てきたのはホットコーヒー。まあ、良いです。肉まんは今ひとつでしたが、バンミーは美味しかったです。ケバブみたいに焼いた肉、野菜類、マヨネーズなどを挟んでしばらく潰して加熱するタイプです。

7:30から日本とのオンライン会議（本日一回目）です。これはボリビアも繋いだ会議です。そういえば昨日はブラジルー日本ーベトナムでした。ちょうどバスで会場に向かう時間にも被ってしまい、バスの中でもずっと参加させていただきました。発言はチャットだけでしたが。今日は4会場に分けて様々な話題での発表となります。主に若い研究者が中心となって発表がありました。全員の発表を聞いたわけではありませんが、みなさん無事に終了したようです。ご苦労様です。

11:30からランチなのですが、ちょうど飯館村の会議が予定されています。お腹は空きましたが、やむなしです。2時間の会議で、ちょうどランチの時間が終わってしまいました。まだ何か残っているかなと期待してランチ会場に行ったのですが、全てゴミ袋の中に。。

お腹を空かせたまま午後の発表に参加します。知り合いのベトナム人研究者の発表などを聴講し、情報を収集します。特にアジアでの炭素、気候変動に対する研究動向をなるべく多く収集したいところです。

学会終了後はGala Dinnerです。街中のMay Plaza Hotelが会場ですので、バスで移動。1時間以上時間がありますので、下のロビーで数人でビールを飲んでいたら、次第に人数が膨らんでGala Dinnerの前に盛り上がりすぎてしまいました。

Gala Dinnerは開始と同時にビュッフェ形式の食事が始まり、その喧騒の中で3、4名の方の簡単な話がありましたが、全く聞こえませんでした。結局そのまま食べ、飲みして終了です。特に何か催し物があるわけでもありませんでしたが、みなさん十分に楽しんだようです。こういうのもありですね。

宿に戻り、静かに部屋に入って就寝。

### 03.28

今日からエクスカージョンです。朝7時に集合のため、宿を6時に出発。宿の主人と厚い抱擁を交わして名残を惜しんで出発しました。途中、バイミーを二つ購入して集合場所のホテルのロビーで食べさせてもらいました。エクスカージョンのバスは2台。余裕があるので、隣の席は開けて座れます。ハロンまで3時間以上かかるということです。途中でトイレ休憩に立ち寄ったのですが、この村では枯葉剤の影響を受けた人たちの仕事場として作成している美術品を販売しているところでした。小さめの水田の収穫の様子の作品を購入してもらいました。ハロン到着は1130頃。そこから小型船で大型客船に移動します。そこまで約1時間かかりました。途中は海の桂林のような場所で、とても綺麗な風景でしたが、運悪く、窓の開かない席で、さらに窓がとても汚れていて景色は全然楽しめませんでした。



大型客船はBlue Diamond号。エクスカージョンの参加者のみの利用でした。まず昼食。その後部屋わけ（二人一部屋）。矢内先生とご一緒させていただきました。



湾は穏やかです。最初に海の洞窟を見学に行きました。ここも小型船で小さな島に移動して、そこからカヤック組とバンブーボート組に分かれました。自分は後者を選んだのですが、これが正解





でした。とても楽しい船頭さんで、歌を歌ってくれるし、猿を見つけてくれたり、洞窟の中でもヘッドライトを使って色々案内してくれました。ちなみに他のバンブーボートではそんな余興はなかったとのこと。写真やビデオも撮ってくれて一緒のみなさん大喜びでした。

その後、船に戻り、夕飯。肉無し料理を準備してくれました。船が停戦しているとすぐに物売りがやってきます。船よりも少しだけ安い値段をつけてくるのですが、結局買いませんでした。

ちなみにMay Plaza Hotelで15000だった同じビールの缶が、船の中では55000、物売りは50000。ただし、ハッピーアワーになると船で2本買うと3本くれるので、結局は船の中がお得のようです。夕飯の前に、料理教室がありました。春巻きの作り方。中身入れすぎ注意。うまくできました。





夕飯です。牡蠣、美味しかったです。マンゴーも美味しかったです。

食事は日本人の口に合います。

夕食の後はそのままカラオケをする人もいましたが、最上階のデッキで少し涼んで（ワインを少しいただいて）から就寝しました。

03.29

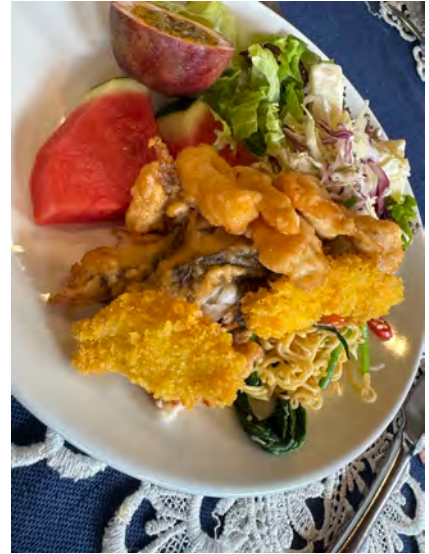
最終日になりました。4時には起きて、日の出を見れたらと最上階に行きました。結局、日の出は見れなかったのですが、墨絵のような風景を満喫できました。朝食は730から。オムレ



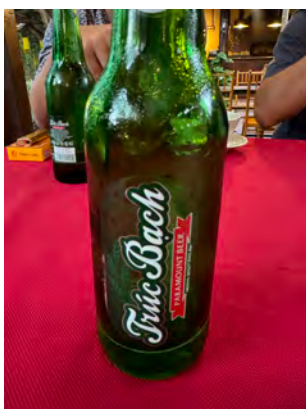


ツとフォー。朝食の後はカヤックで近くの石灰岩のすぐそばまで移動して、状況を観察させてもらいました。ところどころ崩落している場所もあり、あまり下にもぐりこむのは避けた方が良さそうですが、迫力のある地形でした。ちょうど引き潮の時間帯で貝殻の付着も確認できました。

船に戻り、シャワーと着替え（カヤックに乗ると結構びしょびしょになります）をして少し休憩。その後チェックアウトがあり、そこからランチ。運動をするとお腹が空きます。帰りは、ハノイ市内、ハノイ空港、Thay Nguyen市と別れます。自分はハノイ市内にてプロジェクトのメンバーと会う予定にしています。



遺伝学研究所を訪問し、今後のプロジェクトの打ち合わせを行なった後に、土壤肥料研究所所長と合流し、改めて今後の件を相談し、その後会食。川のほとりの静かな良いレストランです。土壤の学生も一人付き合ってもらいました。ハノイで一番美味しいビールだそうです。





3時間前に空港に到着。その後も大きなトラブルもなく、スムーズに帰国しました。色々とお世話になり、ありがとうございます。新たな知人も出来ました。

